

検証用サーバー上での WEB コンテンツの表示や CGI など各種プログラムの動作などのご確認・設定変更をお願いします。

**【手順】**

- ① ブラウザを起動し、アドレス欄に郵送書面に記載の検証用 URL を入力してアクセスしてください。 ※検証用 URL : http://test.ドメイン名
- ② 表示されるコンテンツについて、WEB ページの閲覧、メールフォームの動作、CGI の動作、等の問題がないかご確認ください。
- ③ 正しく表示されない場合、必要に応じてソースの修正を行ってください。  
修正を行っていただいた後は、リモート側の全データを PC (ローカル) に保存していただき、新サーバーへ切替後にアップロードをお願いします。  
検証用サーバー上で修正した内容は新サーバーへ切替後上書きされます。

**【注意事項】**

- ・プログラムソース修正のサポートは対象外となりますので動作不良の際はお客様にて修正を行っていただきますようお願いいたします。
- ・新サーバーへデータ移行後に旧環境にアップロードしたファイル等に差分が発生する可能性がございますので、サーバー切替実施日のアップロードはお控えいただきますようお願いいたします。
- ・日本語のファイルは文字化けする可能性がございますので適宜修正をお願いいたします。
- ・FTP ソフトによっては、設定の変更が必要になる場合がございます。

**【コンテンツが表示されない場合の解決例】**

よくあるエラー内容	解決例
「500 Internal Server Error」が表示される	CGI ファイルのパーミッション (権限設定、属性) の設定がサーバと適合していない場合にこのエラーが出ます。CGI ファイルのパーミッションは 755 または 705 へ修正が必要です。
ページが文字化けする	HTML の文字コードと、ブラウザが解釈する文字コードが違っている時に、文字化けが発生します。まず、HTML ファイルがどの文字コードで保存されているかを確認します。HTML で特に指定しない場合、このデフォルトの文字コードが使用されることになるので、文字化けしてしまった場合は、エディタのデフォルト文字コードをチェックしてください。HTML ファイル内で、文字コードを指定するタグ (meta タグ) を入れることで、ブラウザに利用の文字コードを伝達することができます。

**【新サーバー FTP 基本仕様】**

FTP アカウント	○	サブ FTP アカウントを作成できます。
FTPS	○	FTPS (File Transfer Protocol over SSL/TLS) で接続することで、データの送受信をより安全に行えます。
FTP アクセス制限	○	.ftpassess ファイルを使用し、特定の接続元からのみ FTP 接続を許可することができます。
ファイルマネージャー	○	Web ブラウザ上からファイルをアップロードしたり、変更することができます。
データベース	1 個	データベースを 1 個利用できます。phpMyAdmin でのデータベース管理も可能です
サブドメイン	○	サブドメインとは「XXX.abc.net」の「XXX」の部分にあたるドメインのことです。

**【新サーバー WEB サイト運用支援】**

簡単インストール	○	WordPress などの CMS をファイルの配置や各種設定などの面倒な作業を省いてインストールできます。
自動バックアップ	○	最大 3 日分のデータを自動保存します。いつでもアクセス、ダウンロードが可能です。
アクセス解析	12 ヶ月	Webalizer や AWStats を使ったアクセス解析を利用できます
アクセスログ	30 日分	サイトを訪れた人の履歴が保存されます。
アクセス制限	○	.htaccess を使ったベーシック認証が、コントロールパネルから簡単に設定できます。
Web Disk	○	FTP ソフトなしでサーバーに接続し、パソコン上でファイルをドラッグ & ドロップするだけでアップロードやダウンロードができる機能です。サブ FTP アカウントにも対応しています。